教科用図書検定規則実施細則の改正案について

1. 改正概要

①申請図書に係る提出資料等の変更

申請手続において、申請図書のデジタルデータを提出するとともに、申請図書の審査に当たって追加で必要となる資料については、文部科学省の求めに応じて提出すること。(第1の1(1)、第1の2(2)⑧改正)

②二次元コードの参照先の検定に係る手続きの明確化

検定意見に従った修正として、検定意見の指摘箇所を含む図書中の記載をウェブサイトのアドレスによって当該ウェブサイト参照させるよう変更する場合、検定意見に従った適切な修正を行ったうえ、修正後の当該ウェブサイトの画面を記入すること。(第2の5(2)⑩新設)

③その他(刑法改正に伴う変更)

刑法等の一部を改正する法律(令和7年6月1日施行)において、懲役及び禁固刑を廃止し、拘禁刑が創設されることに伴い、規則第7条第2項に規定する不公正な行為として禁固刑以上と定めていたものを拘禁刑以上とすること。(第2の2(3)改正)

2. 施行日

①及び②は令和7年4月1日施行とし、③は令和7年6月1日施行とする。

ただし、①のうち、申請図書のデジタルデータの提出については、施行の際、既に検定の申請がされている教科用図書については、適用しない。